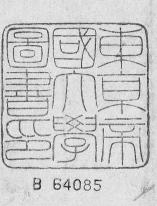
茶湯故事談

YB20 580

中





0009328921

北宋湯古事 於第四

金卜罐子八一物二名也余り二近十事故知可又人多本太新記 昔八日本一焼り華押なし床、焼い事一年りここ利休備前焼りよう焼きりれ続うあいう鑵子一イタし、トムフラ何り事一日本 り初ノコり瀬戸信樂京焼ニテモ古クシホラシキ壺ハ見立節シング

一年、方ツ也客り持然ノ花カ又、後色うワロイナント思う花、初座三 生りう苦しりラス朝見り花り利休モ粉な二生かしこうモ知へしいろり 牧里国幡守英成凡炉,會二初在二花生之之一心安友的座,花个 カントロへい英成各へ、妻子こいおョり掛モノ花り生しせまう略か雨

〇一百乐,傅八茶タテンマ个建水ラ取入時半り客三後ロラ見で取出、ヨ クル特ノ用心セトグ 小教へラしと申是八事·人任無理務更萬一水コホレー取後し又コボレ

利休月朝島ノ傳、テ古に、多ノ傳受こせ、事たか一年利休器

〇一万貫下云者京ノ任人成しカ教育道ノ達人三ラ異様人事ノミセン 其本ノ字ラローノ中心の日本一ト云字也行ノ字、人ノギ方也也 ご葉子で壺い昔り床,血中、筋りとラ或時極路りのす ガラ小産鋪へ待入アに色アガヤカ成一端ラ床、生り方言公ラ 三院り」事一杯在と山村一意しい、常一手取金一つ、ラ新朝 た得通ノ上カラナレハ異ニの異ナラズケノ世色も親りト成ルア多 しいへす植八人年分ノ日不一トラルナりトリ共植八異凡化意、根 木、帯に百一ト書り作りノエノーノタラ木帯ノヤへ入い本ノタス 醫師は通三考へテノサノタラ植り字を替へラレと子細い植学 初,待相伴近日費に心地に結とまり将貨美有之是,世三利休 トラ則行成り在ラレシニ路次京朝颜一花之公と十八不真三思召ナ 地、朝息の極人是事に咲シラ秀吉公園ると去ラ八明朝為了一有り 朝島ノ茶ノ場トス傳へレトン

)塵埃イブトセカリシラ 見ラ流水ラ茶、飲しべ各イサ帰る 務ト三物ラ変ラ食し終りラみこうモアキ山水ノ流しラ限ラ陽ラ ト云くとう衛生表へ出了呼に帰し茶ノ水八覧ノ水ラ取しまうも 西三人女ト同道し行し力祖力家ノ外トニ石井アり直:往来ニテ人馬 布事一栗田口香南」話を或時利依日以間及しノ翼ナり季レトラ ロカン茶り楽シシンカー首ノ在歌ラ歌し ○子一ありまあのきいくとかよりあるをおうなしくよけるか

右乐ノ傳三数五門トラハ僕久ノ好事ートラカかと長キ物に短キラ 也故、時、取ラノ作意機轉う一一大人、新日教等、茶スナノ 取台也國力成物之方九物之置之物人故事成故宗人之故干者 ト呼ブ奮八九野ノ大茶帰ニタサキ小雲龍ノ金ラ掛ケシカ類

茶ラノを支ョり親しかりとトゾ

待帰り有心アト云初休其外人人 夫ナラハトラ立帰り面白りぬり

〇一信長公京」效頭寺三テ京塚ノ茶人ナハ人:御茶下でします 〇一白蓮花り生い金花ラ文へサル事古未ノ数へ也但し古气兵 ー 妻と男は一事人大はの他のおとるもろうくり 在り利林力手敢下り上

〇一工京後藤哲次八小城意及力好三三一年表之加茂川ラレアケラ大井成 泉水在り待台セョリ堂殿掛ケマラハ舟ラ行也垂頭小小坊主ノ 無該解と難し書写,器在力無奇の見ラ利体、白蓮我の気動の春へとる。 年三夕者也中底三方子下一、有衣ナ德ラ宣已給へ下云金理三坂ラレラ

木立物古り面白するハアリナントゾ 石立門有了切石机手石モ云尺余有り長石三小石可取文也其外 支三り榜手り三テ路火人也被害屋、三屋大日十り下掛ケト潜り口 トノ石ラーツミラ、魚子中之尺斗り長丁七尺余三有之其石ヨり彩

○一任吉了社家三利休上中好十人在り七人家食。而有り己力細工ラ紅 利本之了能干價とラ得サンラ其質ラ放とる利はい而公人は人大名力少と之故自在人益ラ前ラセ又茶抄同筒杯荒削中已ラ其上ラ直して 子モ多クす暇血カリニ自分作ノ道具ナラこくをノウモラモ残しい

○一つ夕べノ花生八水筒三ラ順礼力腰、付テ属りシラ利体道中ニラ見 ラ好をシトナり 付モライラ花生トレ名一般回下各年名り是ヨリ世人了人一花思 クハタクハ城社人カトレコンラへ成とし故トナー

〇一下京三福阿弥下五方食しき者アり明幕し茶ラ飲を無して着せし が或年旦これり如り該しケルトブ

テムラツリン利はハ床ノ落シアケノ真中内ノランが行ラサラ之紀為力比近ハ床ノ天井ノ真中二蛭ヤキラサラナナ ○はすりずつまるうでは はのずかはあるとないます

〇一尺ハ切り花生い将年ノすば斗切けりしりを林ト云し有い奇クナラ 舟ッラス時い目:アルトラ今モ内ラコシトラサるモ有なトリ シャラント共へい、向白カラストラ外ノ方二打釘ラチ事!一成シャ保 三年りラかケタりとイツノベカ替り盛りとヤラン近れハイッカタョリ下り

〇一一フションラ 切ラー等切二部コメルラスハ切トストツ

〇二二室切い利休かたり切タメノ用ニ勝手、掛ケシラ或時魚、乗シラ 〇一利休或人座鋪ハイヤョウナル座鋪力面白キリト。再子しこウノ木ノ多イ 其你小座鋪へカケンケモ布ニハ小座鋪へ用る上に好ってい事ートリ

〇一二度掛ケト云名物,竹花生長及下,関,酒屋カウり場,銭筒 力面白しかをへしトるり一般原且へ得了これる

成了了利休禁從律一時具的雨至而花生了一切通一掛了 改二度掛り名付しトナリ

焼物,花生、た名物多之紅鸡力備前筒,花生布什一环書:ラ

〇一田舎》使可り利休八金子壹雨上方何三三天茶,佛道兴水,三絵 八り後八十五越上夕時其意雨三月茶中茶祭习夏子進八八十二代

〇一凡炉先十年凡、四置年以上一座師、紹福林上五己し事也上下 い何カナグで茶中を新ランケレハ茶いたいトスイヤリント

〇一近代大徳寺ノ筆痕ナクラハ面白アラズト之恵キハ小座第二他 ノ建フテカケラ共二二尺六寸也是一三月基天日力治り外へ見へ又 世係利休かけり基子ノ高ホーけ上トレキクナレハ夫交短キ軍モ也

茶味下禪上味吸心尽不松凡不意八塵り一意音习要上也り先以 専ラ神機ラ宗トレ殊、珠光紹為以表皆参禅しり識ノ量ス 珠光八一体和尚ノ京子配為八大体和尚利休八古沒和尚宗且八春昼 墨蹟八掛ケラレズ,揮成ノモト野儿事モ右是八条道ノ意 板モ

思ウベカラズトナリ D古代い和漢ノ墨 蹟ラ用たり八愛在心籍ラ用しこ例多し、撒こ 故後人夫しうおよう茶帝、八妻う禅師り筆、跡りて用心様、成し 屋和尚一京子有此人之面之一尊仰禅師一一筆題ラ壁上二掛ケン 和尚有乐八王堂和尚遠民佐久間将監八共二江月和尚其外三七春

○一水野生初寺家一浪人山升 弥兵衙八江产外下谷也三周看之始八一尾 使ニラモ茶會イタス程ナラハ勝年三替一金ョンカケ置へレトノ古 了殿かす柄かラ棚へ上ケ勝手へ一銀ラ持生金ラ取入し勝手で自在 置外」な過過ラ特出が大力動力のは出ラョリネタラレゼ何程 三方的り直と小釜ラ的三掛ケナガラ持以炉ヘカケ的八壁三五カケ 置力蓋~裏二付有して、金ノ内へ落入し其時是、近比無相仕低下 う建ラ茶核でナノ帯ラめて入金ノ蒸ラスの特加何しかし青竹と 二學之終りい見置:智に茶ノミニテ春セレカー日見置う語語シ茶

〇一樓,你所宗旦方人成ラセラレモニ宗旦常り如り、茶ラ色が各所 傳ラ科ノテリントー座を成セントナー 何トラ本室天日小選ハかりし作有りし、京旦中心後八盛八妻子、ラわ 指上奉り供心上有りとか、各所を成事一或上移機強用人終日本 不豁り置中假後程下上人传通り梭八丁以候時八重天日二方布茶 縁サン加べり住居に作が小座鋪、テ八夢子取在中具後間書院、書 在鋪一樓子ラ時り茶馬仕低ラ利休教寄八堂タル三有上加様で竹 小座銅ョラ加上上以平人体ノモラする仕復其工育ハナケン三張けは後 茶アクベキ事を神座後へ共力、ル催タル体面白ク思るレラ待入改態ト

○一瀬产ノ茶入其外日午焼ノ茶入八十九様ノ在物ララモ盆建ニセスト云

三高貴ノ方ョり再順ノ茶入八盒豆ニスへと今焼トテモ不苦ト

人有し共利休瀬戸ノ有付一両変モ金建ニセシカハ苦レカラスカ珠

り一般に思うへカラザトナリ

〇一去宗近,教之八三高贵,方了中人称茶上几時八新天日新茶城了日

○一利休作意ノ袋棚八相ノ木地也百水指ノ風リノ上ノ架三見付能キッケンラ利休八三部付し色く傳受ノ事一天多しトナリ ○一条,木ノ中英阜八利休好之十一遍香炉)灰王昔日一大第五等

〇一道安昌気ノ特三直ノ手桶三位ノラ水ラサラ四型半三窓と古へへ 張三青磁ノ神子クナノ花人二花ライケノ置し事一有りしトナリ

○凡炉ノ奈場ニアッキにハ水指ラ餐芸三七水方事一去、宗通ノは初せけい事一十七六各是ラ見テョシトホメシトナト ソラレシを時い小板ノハレラスグとテ茶中ラ電へレトナリ

〇一或夜不審庵·夜吹·在以上を禁これずりますがファラルとです。夜不審庵·夜吹·在様、差八宵ノ事がファラルとが変を不審庵·夜吹·有りと、短繁·油サロョト云しか小性失テ纸 竹ナドニテ切し花生ナドハ其尽水ラ人ニテハニョショー有こトナリ極寒三八道共ラ帰ニテトックリトレメレテ遺ウ事一古傳ナリ表

○一長极是好了了故中下极手り用とし物:ラ音ョり有事--ラ典草 行り広式で有トグ

○一等等ノ桑ノ馬トスラ、唐物ノ組物、ラ作り、筆等ラ用とし利休 い桐ノ木地ラがり用くしトナン

利休茶桶箱月用工上了小麥震茶了入一袋之大野三海茶之人 レトナー 安田三等三り終り入出三見一夕日

〇一方言公初は八大体,内陣ラ西とう茶,場スへき看やない、年 ○一利林或年ノロかりこ古きた釜ラ出しりしい題もた釜ラ母子出 と催しりしい利城受了ラ各ノ物教育是三方在り知し申後果力 手子有りと過去コリハはしへキョシャ上ントナリ

九釜习遺人俊十二八各樣四方釜司待還之俊心味二方金少三八面

〇一芋頭ノ水指下カフハ南蛮焼:方古へハ連タ布:方宗及上利 〇一古宗左八四量年ノ座鋪い店カワリタルカ国しトコントナリ 白カラズトコントナリ

大坂落城之時院矢又利休ノ取持八織田百乐ノ許一百りしラ 休ト二人十ラテい取持り人会心宗及り取持八大方吉公へ召上う 京極安知とタスラ底経アリラモラと正礼太刀馬代黄金十枚送

〇一利休身靈,水指:袋架三用心備前燒三方茶口相,先 サット里達三シ男蓋 成りシトナリ

○一本地ノ鑵子ハ紹鸡力茶屋:置し水指成りレラ利休力未夕 女四市下云之氏小極鋪へ出之初之其比ノ指物屋、道言下云

上午有りシカ指し、トナリ

○一宗且或時語りしい利休或山路三月面: 台戸所々方流レテョ

〇一去宗近一四三年水鉢ハ古り古ムシクルが面白シトラ用ルトナレた シ大政シヤリラ置トムナリ りジヤリノスタルラ見ラ面白夕思と始ノラ器路ニジャりラ盗

持ナシ悪シケンハあのムサク情ラカナラサル物ナリ有乐或時色 好かハヒカ事成りシトナり 人感しケル也如何二古キカ好しケモ見ルガイブセク成りレラ 類成古十手水鉢ラ得ラレシガ水面リラ切及メラレシラ時人

〇一利休力切心竹端宗且人代色家三傳りとヨ小松中納言利常中 ○一利休水門ノ指石ハ下人か目ラ閉ゴロタ物三人グワラりト拾ける 外へ出しり枝、テ近し置りカヨし能手指し八思師ト云しト也 過 取登しモラワレ正礼黄夢七枚給りしトセ

○一茄子ノ茶入名物世三聞へシノ方大概左ノ通

○才,畫流子○紅鸡茄子○京極茄子但之英中:點百り小 ○宗娱茄子 ○醍醐茄子 ○豊後茄子 ○北野加子

○世 茄子取持,人利休へ見セケン、利休大十二岁之情長緒 サスかきラ長緒ノサキョかり筋程三結に見う直と也 テ面白かラズト去左有レハ移直と然しトムレカバ利休

〇 宗私八香ラ好三方常三髻三品メラレン其香炉八千島ノ香炉也 ○一利休取持ノ布袋,茶入名高十物成り是小備前焼ナりより ニラ行しし茶過ラ白頭・丁島ノ香炉共多しト登レタリ 利体不 トラ昂刻五屋ラ呼にラー方切うセンナリー日函亦氏錦茶ノ場 ルシカラセラレョトイへが利体权を強クムレン我を夫ヲ思ファナリ :妻ノ宗思我:モ光セ然へトラ暫シ見テ足カ一方高クテ指好ワ 在方:有シラ利は干費:武メテ般居之衛《時移心近十カメ居》

是以順極院一行製三 ノルニヤト云へ、利休気を正りイヤラモ左様に依ト方笑とス 魚ノ体ラ香が坂と、アラサアケコロバレスセリム亦情見は

節:香へ用イシ是ラタゼニ雪吹トストナリ 利以力有簡三院物三院物力下口以完之下戸運物三面可取內 各物ノ茄子ノ肩付ニハ必内海ヲ挽悩メノ利ニーリ究係へ置シラ 作海ノ茶入八音八重子二八話し共小座師へ八出せし例八金カりし ○情見は要モマカワス波ノルニ月ノクマナル村子島カナ

○一,探京師院三湯桶ノ茶入トラ各物也後八亦井豊後守ノ年八入 合セメラ切透へツクモムク二枚ノ別蓋ナリトゾ と鳴物ラロノ上に提り心様に取手右り益八手桶ノ葱ノ如りこ

○一多賀左近八茶ラ好上看三方以其茶還ライへ心:十城二九版 小麦へサリシトブ

- 〇一秀吉公得秘蔵/支茄茶入、元来上京/針屋宗春力雨 文茄ト都好有レヤレト佐久間不平中上うししョリ之茄ト 持少りシラ石山ラン特覧有心二文琳トモ茄子先登心維キ
- ○飯銅ノ茶入八水指ノバンドウノ歌二似し故三文香臺八岳心塚待号有り是八天下三一ツョラ外二年寺物十リトグ 二三つ有ショ秀吉公へ石ムラレシカ 是モ大板路城ノ時我り 焼減センドリ
- 〇一利休がり縁隅モ岳クロクニ 見工心猿ミロし事一首トラ 三赤モ折節ハカ、セラレントグ

茶湯古事一談卷一四五十五條終

○茶生、紹進ノ時代蓬莱ノ基四馬ト云者作八大和ノ位人:ラ利· 之至下云今王和別高山田り茶祭习很出日了又玉林下云茶祭 上手、テ建て秀吉公司り天下一号ノ初朱下ラ下サレ子孫元惠 茶湯古事談卷之五 師り上手利休時代高山ヨり歩へらりりテ任ス無子南竹下五茶 休力以近居られる天下一号ラスルサレ又高山息元元利休時代」 お削りこ成りシトグ

利は或時人」方へ少をツレテ行い二窓ノカウン作取るす 茶祭人名知 極先 編目第 本上板 金クハーをも替人又其依置力国シト言トナリ 思師这心事ワリカナル事少是しい皆取替かれ力面白之左 这と有ルッ笑フラ新古坂交セラ人ラ面白カラセントスル事!

○一茶抄ノ名者に先キノトカリラ露ト六具両方ラ及先下六条ラ

九七二个目宗左人依不一有少 古代第五千方多之 六部柄局内表又夢金ノ茶砂モ有り板ノハツレニ第ノ有 ラ姥樋ト云小中二高十分百三而方二落人名、極ノ有ラ兩極下 极了如习您各息成下之又見先天五直中三一節落又久相極人有

○一代くり宗通達何上華砂の你上り就中儀ノ茶の内クモり 抄八利体作手名高之内クモリノ筒、知己ノ記有トナケ

○去乐师院一小座鋪八利休其地二枝: ラ迎フケ置光通り三五日上 差易でシラ大工室シ電ニクし故三年間ナラス電人クをある面白カ

一茶抄,你者 乎绝 東山殿時代 羽倒 乎德力以 塩漱 紹為にりるこうカクレモ血中他教書り名有方希砂ケツ事 エチナリトグ 羽阁力以 我三人八声都一任人十分宗清是王南都三

○ 織田有乐取持二税本ノ鞘トモ在言榜に大茶城有り是八高無ノ こい鉄線及ノ政振成繪有り等ノ狂言師ノ考ノ致カラニ似タ 刷毛目手:南細長り断く茶室ノ入程ノ大サノ茶被:以外ノ方 心故在言 考氏云後八至及二有ルトグ

○一方言公隻うは大仙院へ成うセラレ利体、花はレト右シカバ窓ノ ○ 盒八唐物ラ用ユレにいヨキ盆希成故三日子三の奎ラセレセ 照林下云奎師八上手也京都妙電寺ノ武凌界門=住し改 下りラ居又羽田トムフモ上手ノ金師ナり是八京都大徳寺 、ギ花ラ生ケタりに作意がカラト云面白にち待感をしトセ 前三子ノ石ラ高り居へテ有し其上三金ノ花入ノ面白キニ水サリ 彼力達し盆ラ法界門トスフ後八大内家一招レラ固防的

一内赤ト云丁名物ノ為八唐物三ラ類門東坊下朱三ラ書付百り又

ノ門成こ位ストゼ

迹)家老栗津右近り家二有レトゾ へ送うし一枚、衛田三五帝へ譲ラし一枚八を及二百一枚八京東間 今世在所,知己七分八七枚之日織回有乐二枚有己另一枚八一條殿 長成造上針八先十二方酚付之樣二書付アリ昔八七枚程在シカ

○ 秀吉公院禁ョり待帰降,折力了利休尼方崎十七数人內紹知力 一天目墓二七八豊上六名的唐物也是八京都東山建仁寺ノ寺 一東山殿ノ待天目、建山ノを待用するり外ノ天目い待用と伝アリレトソ 京乱送り時八濃及らルマノ寺へ預り置い将有し故こうルマノ書 中福居産トムフニ付物ノ天日車十ラ石レカニン纷失七り残 に云葉スルニウルマト之如今一部カナラズ若りい想はノ事ーヤランカ リラ有ショ中に能阿弥見出と名物下成と枚ノ臺モヨリ市門記

禄近生ガケタルカ殊三面白の是ヨり其花生引姫瓜ト号テ 人も有之支生ント自ラ立テー枝切金」花生二姫八ノツルラ床 凡見へズトス极紹知夫八至ラス事一 苦八條手も光ノ香り三生ケン 生クスカト云としこ庭に娘かり花咲ラ好しト生ケラレソウナ物 至ヲ季ラ奈ヲ唇浴セレニ 花見へ丁リレカい紹知何丁花每キカ

我光茶人、柿をノ唐茶旅ニクリンニウ有ラ外上竖第七 今珠元寺地トスモノカワリカウダイノ茶被へ朝鮮津ノ時取 スレ有り是リかフクラモ言シトナリ 京へも持上りテ松蔵セントナり

一等金地ノ人放下云物道子一例入利休茶場:行しか品吹二ラ 是ラ酸屋茶板トムニトゾ 堺ノ酢臺 禅徳ト三者力人似乎, 希校二人似,付カスラ取時にり テ来りシラ去宗近りが故寄こう茶場三用とわしトグ

ラ道安軍付我を目に在思いりれトラ中立ノ間ニソット直シ

同道ノ人へれるノ内一ツーす高ーカ主人知ラスソフナト笑とシ

ラ母タカ极モ手早二直シタ事トコレトナリ 水方見へ又様三致し置しり後ノ人三利休立トマり今了以

○茶筌置,茶模二志野上大各物有是八白碳/手燒白茶力 いりコマカナルクワンニウ有茶碗ノ耳ラ五様ノ花歌ニキサミサタ 物也今小何方こ有ヤラン知レベトナり

○一致茶碗下之十ウモ名物ノ茶等也青碳ノ茶碗三大キ九七、干 律いり 三五郎ヘユリラレントゾ 内八八是人人布代八細工也本上八野師道三不将後八織田有不入 一ツ有其取こ外ョり動 銘こう 致ラニケガカケラ るりしこ其 気

○一石川六日子を別さたテン条ガラ前に一极ラ得タり改二領 ケノ内 你ノ茶もラチ本トの削し二年ョセラ、真優ワカナカタ ツカノ教 ラモケラ切取不苦ノ命ラ受ラ 街十竹ラ具立ラ古

〇、株六、紀蓋ト云名物ト水コボン持居と後、切市ノ町ナラマ京市 ト云者力取持セン便、五百貫ナリトン

○面面」コホレ、巡礼力勝二付心飯入ョり心付ラ紹鶏力茶屋三件 棉ノ盆置上取台ロテ 置シラ利体力作意三方竹将云面通毛小座 卸へ出るやメントナリ

○ 宝置」置がようりかり三面、利休をわりうちょいなりしトナリ 二首八枯竹人根ラ用工帯をキモ在り中代支宗近八青ラ常限しか

セナントサンと其キワノルロテラ針宝ニテ巻ラ用又其後去ル 意三ラ灰旅と人取斗う銅シノあり来、ラ四角、削ラレ面り取り シ赤色に焼付了用と又又飼き病や步養:而用とご一道安力作 紹進力以小好過テ作三差校三及扱と用之利休作意:批把 東共キラ九メタル様ノ武三柄ラ九ク展付三土ニテ作ラセ焼物こ テ用ユケックテや事と新二青竹ラ切用に事と成しトナリ

〇二尾伊織 各族をニテニ赤ノ博ラツヤ茶事―ニクワレナリントゾ ○家原自山、隱山岳干起具持一方或時人會一也而言以力相任 ○去京五一教(三各物/墨麻持/万一作夕九月三万祭甲三八有台口夕 (一首八四畳手) 炉隻」成りすい板でラフサモにゲラ其一置量ラ ○他田炭トムへい他田三 ○ 雲龍金小村休 初火 ナドミハー入面白カりと 要龍金り利休初以下が三縁でセンセ大方八五徳金し、釣りと巻 テ用いまー・成し、十り ちしアクを私トラフナリトリク其上凡が二八大キ四多り下テ小下キ 展け柄二八其上ラ竹皮、テ 持たドー年而替屋善六カ三十两三ラ名物ノ茶入り買う 是程了了下我人五少儿 郷してこ夏ケンラトラントノ宝 物クラへい放きリノを意いべい 三方共二名物持クル共名物出下入後三雅ス方八名物ラ用とスクロシ り共名物八用とス新花板新茶入ラ用に事」直 シ用ル也切う雨ニアラ 炭ト云也音ョり来が、八是ラ最上トス体他ラハ帝、ラ ナ蝦斗り建し始終馬がちずりし雲龍ラ教版タラルに入るる 或時秀吉公人待前三 ノ柄ササンコな柄ノ致少し丸クレラメがあって用くし但し柄ラ差らき 宗也、灰板也八其通 ヲ呼としカ帰路三生」」道是通民替く在知名中恨力何~ 釣り又八白在三方 釣け 倉ト文や一方焼き他のり市へ出入故を他のだトスノを名い倉地田炭トムへい他田二万焼クト思フい語り也接及多田ノ庄一 細十年リウケテスケ文様でし其後暑気ノバハ来あけか思し 小野成報馬灰美農尾張也了八行势炭江户也了方八櫻灰 り習多り何りも七八万日に場り見に様ナストト 全少柄ラサレム取り展け製ニハり支へ素 都在三千八百雨,過其也是程一道矣 用しいヨレトストスリノ 雲龍金三五八折節 待近習多少三 ケゲタラ構へ二水指ラ混在建ランモ有しや

一套,尾效患工人渴朝,節奏,榨十實持来,了具各百 先自仙ラ招キレ三後こ自仙方へ善大ラ呼じし時二八情水烧り 新蓉旅为白又以外路子人袋三入自分二少上里館三書子出 シラ善たいるこれ及時ノ人宗近モナイニ成セシト也

〇森〇祝〇字文字〇川下〇杯把 豆ツり東 〇真

、右,実习七方取二極付置し、可是可名与了七種,名園下之残三種 ラ杏、尾ニラ上様、電下云森焼力茶、共三ヶ瓜三極ラレントリ

〇一大音小茶ノ梅へ様十種有シナリ

○大昔 ○後昔 ○初音 ○白鹰, 瓜〇大鹰 ○小鹰 ○大白

五,品之也近代、家文ラ·も文,名出走しトナリ 〇小白 〇菱茶 〇青菜

一近代七種ノ蓋置トるハ ○極上〇別後○極術○別後○上極病

○一柳勝り、八名物二種《八事 忌也利休偏とし小十り 〇三、葉〇蟹〇サンと 小ヤ〇三人坊 五徳

○一利休力用と初メンヨりを」二時へう過イケルも野棚八元表香了家 タル三野家,香架也香ノ茶帰ノ傳有ルトナリ

□ 五徳、古你りるがトスル、多クハ子治事力你也

〇一宗旦ノ作、モ標タンノ花生、達广ト云有後口、柱張ラ書ス 〇橋タンノ建ナニナルハ道はナリ芦ノ東ミノル軽ロキオナレハ

〇一年務寺ト之東ノ歌唇りと物也蒔繪八春日山袋八紅地ノ古金網 方く二似中物多心差更物百万用六時小玄皮ノ魚二載人八事故美 也後醍醐天王,動作三方今三苦野人吉水院三百又堪三七下り 世上或人一記二近行我ラなしテ素又ハクワリンニテ作りらス治ノ

金りこが用えいすり

○去人」路次三中り水有り方藤棚在り、或客千中、トラり傍人ノ去へん 二美農国歌旅山城寺道三人道王茶ラ好モシカ男田園部又ならり ラウへしもなトラー根二思フ可ラベトナり 飲以二、杜若一色ラウ人之京極必知り露地二八松ノ之成之又南天一色 テー方出りノ水ノ様三具エルい園ノタクルナランアトスレトブ 年難い班ナラシカ改工路次三花咲本い極ルナト教へラレン遠民サへモ 談在又想一名ヲ路次二極之又紹薦り指園、テ平野、八福ラマヒレ ヤリ水ノ上三藤棚百戸世人モナー、称美ス佛真が一戸光しい他

茶湯古事一談第五四十三條終

茶湯古事談卷之六

二 堺三雲山下云名物首付ノ茶入取持せシ者アリ利休ヲ招キラ其茶入 其後方くへマワリテ去大名,方で在ショ京極安知大登十りしり衛方 ナレト殊り外称美セレカハな申ラカラ意キをトノ主人へかへし、が 且うなとよ日に申かし低ト吐しケレハ具大名不手庭兵之夫程聲 醫師何具或時彼大名,許八行茶道,以有之次手二待取持人 テ同座ノ人モロフラ帰り手自ラ鏡ラ茶 雷ラ催し初休を呼と其有 うしシ其醫又必知、李へ来りラ其吃中ケレハ安知學苗テ 雲山ラ安知殿殊り外,整有ラ雲山一茶又十八百一八外二茶又一至 付うなせしこれ休見う是ハ何リヤ見し雲山ナラズア是ラコリ具事 ミナンハ譲ランが併全、豚ニテハワラス二歩ナラハ連ストラ笑と看 休力党也又将面白カラズトラ 土徳二方作到しり扱モ短気或事ニラト ラムシタテレニ利休一向気ニハラス体也とカハ帰りし迹ニテ考世利

左様あたが実力ト押返し問心し二成程比日参り待直設ラはり モ用こに茶人へといき入又い見しシラウギラハ後の用とストス誤り也 シトタレガニ申センカハ早を参ラレ金二駅ニテモラとクレヨト石シ ラ本 忽三請合了于其体大名,本、行于我田中としか八丈、座 是服力少安和戲一新り申了モ問入血力大人的一成之二八外,人 魚ニコリスレ真実ハイクラモ 遠ス心ハ血キトムレレカバ酸大イミ 其金一万二十两也发極知為人外提心或時這及八見セラレ共次十月 起モ其にソノ大名ノ順分損亡)事在之故百姓林とノタン全三級可以 カ、ル物の長成三テコリ国シトムしもしい近代茶様い到しシラ次キラ がく台又がアリッキ血サン哉ト有りこ二遠及了筒、上有付到しラ 微サセンケノ事ニラ 則其分ケ科内なニラ言上ノウへ安知不受取 くモ開サラ段文:万簡石りテ終三金二歩ニテ次知へモラワレン 次十月七台又ニテュリ利休七面白り、松美し名之高ラナリ又失張 成三左様=ラハ安知殿へ中かち你産生タト中シラモ許容ナタ

一朝好人人陶品习作儿者来朝心杀破颜习统下出了是 乐院十人 元祖也本國人字列朝二部下名行したべり其内名高十八 各物唐がホハダレテモツギラ用エルナナりトゾ ○東陽坊呈○東陽坊力取持十八近世 鸭地道億刀至上百五方三八

里 《織田下総守不持下十り 作金七百两色をマレンカ共譲ラサりしトナリ

《松平 寶岐守不持下十二

赤い利林人名下氏二朝二島力茶旅撰三出之世之一ツ 都サツマヤ新去衛取持トナリ 我リショカ様ノ馬キ茶族名 待見知りナキハ 検校殿ョトラ矢で取ショり七名アり近代京

右ノ品ラ七ツ茶破日、五ラテ焼モ専ラ本放ラなシス光外名物品焼

中立しう後ノ入りノ相あっむラカコハ大見こう去人)教高ヤヨリ 腰掛ケ近余り:遠午故、銀ラガショり始り又然心二至ラ間近十 取ラモショウツハイカバナりトゾ 〇年 問細り数中午不持トナリのアヤノ 〇マコモ ○再来 ○問居 ○ 文字 桃花坊 太市坊 同一马

売り名物

伏見ノ待城出来でしうテ山里ノ待教客や四屋千下ラ量下ハ (宋宪 之来细川之亦不择 一隻後 一考六 一居井寺 高椒 十十 随坟 ○長崎 ○兵庫 未無明常信取持 湯香 内底 ○松倉情香○加納 一去京清香 上月雨 首 大岩宋 摆 小拖子 治東 店脱 吹少 對馬

一利休我寄屋衣變八年数相應一而先り八目立又禄二里小神杯が 一切ノ木皆沈香ノ木ラかでラモラレが禄近モ外ノ水ハ用とすりしい

へ下サレタで終りし二茶硫得了して、作在かれ故宗在不斗コョリの古宗左或方人提象方為供致し茶場、行し二茶 待上り有了宗左 リレスへ一入心付シト真なノ茶人貴ノシトゾ 新己年茶中ラ取出的多掛个テ本り、發其茶中、耳又小五

○ 秀吉公移秘蔵,井产茶成为待近習 成落し五りこ刻シカハ大秋 ナラズ各横橋思誦力りら折節一為永居台セラ其尽良吟 等残トなとうししトナり トウセラレシカいきタ待感アリラ待機輪直りますりの筒井 ○筒サツセツニシレルナを破トガラハ我がをことうして

○四方金モ、利体好とう始う鑄すせい去人 不持り利休人自軍人

四方金請取牛低去吹同過三三年夕 馬出方有几可力低

心味一般可申俊力之夕

下道表

○九亀年中正親町上皇 南三丁茶头一通差上上待茶入東大 小一り里達蓋ノ上二大、八陽ノ南小、八題ノ桐ノトウラ全粉、テ

蒋繪·書中又其品人

〇待茶抄一象牙 〇水壶一扔四野菜,籍户り ○香箱蛤ノ設本外共二金泥上下去:甲ノ上二大ノ白八条ラ 胡彩三方置キより三ス

〇花入二重り竹光生也皮ノ表キラなケテヤロ内底不致真ノ 〇炭斗一榜/剥目太地/禄高極彩色"大,白枝菊,雪日,

重達シテ青海股ラ原ノニー重蒋簿:書セケリ

其外、常ノ如之大、家感アリラ常トノ居士子ラ给に無例三ラ宗 衣やり小町ラ下し給れるかかトセレナり 且モ東福門院へ茶具」通りラ藪之内門院移手自製セラー

〇一利休自筆二年ノ東ノ文トラ名高キアり左ノ如シ

· · 定家一小色見色· 给儿费所以似色中大学一种三一

成天奈司佛又人一持俊了然心心少俊可野人

〇一次方吉公世七大方:静りし程:北野:ラ茶ノ湯アランド天正十三年 人福京ナラサカと三高れの立うしこれ野大奈ノ場トをたナリ ○ま一十月刊日於北野松京茶湯一可食兵行作不事,于贵縣不 紀下寅昌,至三一面名会表雷,可惟一点禁美麗ノ好俊 至以等可此野者也 約當可申低多吉我十年水置之者道具豑力立可置了条

八月二日

玄以法を利休り以テ九野茶り帰こ出へ中中付サレレなれり見テ 大方吉公舒道具待筋り、成りこる々左り通り 瓜子幸三方構人您奉行い福原左馬之冊 蔣田権,如中山或部少 諸太夫ョリ近智追奈へ志と有者三百十年人ヲ撰マセラレ徳長院 椰木下大腰意宮本甘京太文工人丁り之松京一里四方、明明五多小 近里遠境ノ隔ラ無り投寄者共競之集り北野松原へ行う心當了り 八〇青楓の長ソロり、〇虚堂墨陵のカブラナシ ちちのこう 意見兵科具でしてり 〇井产茶根〇カなノ水指 〇新田の存付とハタ 一一四方盆三載と 〇七待前 ○アラモ茶碗 〇又力 天日 ○電盔水指 〇ヤセカケ天目 〇木ウロク金 〇小アラレ金 ○珠德奈抄 〇鏡,繪〇内亦為〇二夕り 〇紹鴻天日 ○カーライ茶碗 ○折タノ茶ガ 〇枯木 〇拍子 八りれ ○線香香爐 ○備前筒花入 ○四指石 ○志賀 一力子/蓋ラキ ○白天目 ○尼灣書 ○象牙奈抄 〇竹ノ蓋憲 〇馬比香合 〇 リフクラ 一个利休道具 〇宗 及 道具 土為一意置 〇朝山 司柳口川初抄建 〇紹鸡水口水 一紹鸡茄子 一十七頭 〇七つ妻 リロり花入 〇とョウタン 〇折タソリる砂 〇カーライ 茶碗 〇セソこモ 金 モレしり、あお建した質 〇アヤ・チン等・ 〇折タン茶や の細りで 竹器置 ○人道/数◆○下三天目 (タコ壺)水指

(京久道具

〇生礼葉茶豆 〇トキン茶碗 〇シキカタ付 〇焼口信 〇三 写第ハン

石等/道具/各目茶道不奈内)看筆ユセンスへ相遠云有、 花入上知した後世、八知しず小事之有ランカ見八人客と然人 又其世・テハ人をなり事故名手りラモましい名入是ハ

○一秀き公待カコイハ三ケが三軽ロ~~ト建テリセラレ

○一番 ○信浦公近衛 ○程資即日野〇信推即 幾田

○秀長婦 ○秀次郎 ○利家师一 先田 ○家康過一待提○信衛一方律

〇二 香 〇有 乐 一 織田 〇氏湯一 衛生 〇臭過 福東 〇利休 一秀勝 本下

○秀家品 沒田 ○忠兵 細川

別出羽守七召建しラレ方を待うご有りテ馬九光震ロノスキヤノ前 ナラ、塚京、ノ町人共ノカコイニハ野書什的教タキリモナク路り 各通りノ時利休之内: 新寺有付抄座後与移進×中待人有之本時 ランラ 移小将中十人斗马上先蜂至出初将持八年人都茶上り 是等、待手前三方待茶給りしまヨり方くノ待住居道具待ラン百

〇一石田治部大崎三成八江外ノ産: 中或寺三だ吉トラ小はラ勢メ居 左吉大腹ニガブくるト召上ラレ又一腹下者シニ始メヨリケ厚の 殊ノ外衛過十首アリノ其寺へ立寄ラセラレ茶ラ御好を有りと時 タリン其に木の吉公、江列三在城有でうし或日舊将三出すとうし打節

一袋カケー栓中柱ラニカナー利你、頭っ立しノ金町ラサ宗見是

三テレラ 明ラレテ 諸大名中雨をノ人多の水ッラレントナり

サ七分り竹柱ラち去泉近い折釘ラちししト也

中版三立ラーないるりし特小版三イカンモれり立ラよりし二六 ,城主トナりントナリ 機変、ラス者ナラズト推ラ待耶等有う後八五奉行、成し沢山

〇一金ハイカニモユガマス様ニカケ直スベンを找目:不及、客三向了べい問いしい 容を遠意ナク言ラベングレスガモラモ岩モ気シル者一下利休モ

〇一尾住織農茶一般喜茶一股、調服トカフラ 調伏、音アりトラ 力自筆ノ書り越入分ケー及調伏ノし、キョカ、ワル事が会し世上 ノ音アリケ 投了一物ハス下張也音動ノヒいキニカ、ワルハ可笑小ど及 傷了人も有い程三面版も立テルガヨシトスンラ他流ニテハーを流こい 芝か二般八部はよう焼了與例四三ラハ二版春的到部各下于長有 走った祖三の股八豆ういナトラー也 人り備フエへ若動客ノ中ナン影智、気、カケル人が有りラハ不地

- 字治面 圆力辞世

○行気キモ又行りたきモデクルボーノ糸切し又しい本トノ木ノヤレ 最朝一色雲即淡

是与一紙三書孩と有りしラ京ノ作指師他田を水力不丰買出し具 三台与八持行代八十雨、豪等代人称物や三泉野在會」を如三户ケ 你真我魔景順人持行三是了雪和,横粉小巷人其雪和了後燕

七字三與張魔二在ルトツ

○一真珠庵宗賢、古筆习是極小事一极了得茶三志要力り之故寄 心田角ナル茶板箱,様ナル箱へ入テ有り箱,内四つ二仕切袋三ツ 茶入下ックラ右り袋ハーッハ古田織戸好えーッハ小姐遠及好一ツハ 者氏古筆司具ラモューニテを少値偶し又又唐物ノ九のボノ茶入百 南部下云看数之古掌一极人老之其礼习如果以不上中是极言二千两 金我宗和好三十り上或年野村宗二八四三九賀屋鋪田主居

へ、様ナレ若又二十雨、賣りセルナが本元、モ兴受ノ上京、モ大 子細矛僧ノダトか衣食住、色レガラズンラ生涯ノかこうを子香 持也九条入大聲仍己箱寺修震了多人一下甲越工民街り中之已

○野村宗二八尾及八町人也後遭看トナリ茶了乐之之竹腰山城守工情 或時道德二之二、何方:ラモ死る以此中:何し元五六寸三及高十八 置う茶過ラ智と学セン宗ニハ将意力傳ラ受後三古宗左ノオ子小 若スへり申りつをソコるデモイタし特大イニクデキアヤマテモ致し モ茶ラ好三茶道秋野柳意ラ京へを之看乐ノ高意りらいして人作 京琴を与うしてじキナトスシトナン 学、何方も高々トンケル也年久しも高級八年そり掃除而り 流し 俊八之是、各高十年近一致之ノコガレ之一路次ノ石共ノ南十二智フラ 少毎年ロかにハ上りラ其人をり相ば二方をへ行天下こ名ラスハシ 十月其比名高十四边道家原自山县我產宗歌二方了一親一

○京三草卷上六町人茶为好三街丰育竹为成持七十八石田之成力感 二次方言二土毛蔵り砂モ流行らば次方二自然ト石ノ之高り残りし ラ典ラ古人もるい高カリント存造ルラマよりコナイニモ後ハント在中 田威さノ後上へる上ケラルトナリ 等感し也した惯と三十一,ラ水、草庵肩付下名的和感也りる トスケレハ道 度近の余程十キクスでルナりトムシナー

○ 方吉公肥前名古屋 待在庫人折力ラ大明,正使可息意成了 ラ六月古山軍待教壽屋:ラ待茶アトラ

〇年 道头八分

○茄子ノ茶入内市」金、載八十至天日 ○五間 帰城ノ籍 の金 の水コガレ 〇新田有街

○縁 福ノ水指

〇象牙茶抄

〇玉 間枯木ノ籍 〇九昼鋪 八十り八間 〇巻ナシノ花生 Q富士香炉

百付 投九中

〇セナとモノを

0芋頭 水指

○元フクライボン

〇一京縄屋九部をうい京且人凡ラ等心と九三十家斗ニラ始メラ 先是小指置外人,者共力う招き了近人批判了的了其上的侵 ・人ノうケンニテムか茶,好意、松れ先道信ラ請し然いでト 着一億ノ気:入ベカラズ大勢ノ批判可定ラモ用:豆タス通信 ラゼントムレラ其父母テ以外不了前也トラモはホノサクマイ 茶ヲ生サントラ祈ァラホンラい為意い古老ノ茶人トラ私へい 以写:テハ友可弘力手前:テ諸大名三待要下けしし十り 〇井产茶碗

青ラシート新ラレクレ权モサッハリトキレイに致しラマリ极も你意面の ナり角カラスこら初モるととろいれ、程美してころへきこ去りけいムサク とう情食ノ感しと毅うしう見スルハ大作り物ノ傷ナリ是八麦あまこ サトシタ事ーブ次二作垣レンシ作ドイノ作ナドモ不残替へだ三新古ノ 是派でト教へラ頼と大程のトナラバ女を申サー先の帰院が悪しち ヨク致サンシトホメラ何共之ハズ支敵最初ヨリノ父子ノろりシラミフテ ミスルガ茶前/左意十り次三八張及力高過多り共事しれ去田舎、东 トムで程力者、イクカモ大勢力方方を言う入テ掃除し竹、類八智、 取マセスリケトちといキナド致し古ノカンク見セダルモ思とク子細鏡や スシュへ叮嚀:ノ招請と其後日父道德:批判ヲ朝し三叔《殊勝こ 限ラズ都鄙三多十九角大月小月ラヨラス富贵复及其中戶相意 トラモーニテナケレバ今日景公ノデ上不相意とり酒有食用ノ他ラび

人も難としか老人が面中フェスへり轉フトアヤマナラスへし次三時

若肢ナドスク事、有力力 先り是から近けれてしたらしたり ノ楊枝クロモシ七分年り長過了援中へこ桑紙二年りりり是デ

〇一利休高才世二七人方子ト之左」如し

〇織田看乐 海亭信煎 一萬生花 浮字氏沿

〇芝山監粉 〇荒木 接律字村宝 〇高山左近

一說三八看示习俗方佐久罗心下习如又一說三八看示太十七准了

〇一首利体力比近小古流一雜:為了看之一殊、情田宗吸令并宗久不 イツノ程ニヤ方底、微くニナり有トモ缶キカ如クラテナ家ノをシニナル い有多並で宗通外して、十家、系圖、ソラ又高名と名人教多有 全世一鸣八三亦古織者永遠民一及各越佐久及多贺重森元 有馬玄番ラカフトス丁へ

〇一天正十九年 正月十三日 伊事為象り 根へ歌居スへき下有りし特小変 ナ 家ョリムサルハ西と實三利休、在道ノ大宗師トコノし

桐臭置泉鍋杯上流之各别人樣一答之一流之之民其根係皆

一下茶碗袋り左右へ入食物へノラントセレカ筆ラトリテ

○利休メハ免角果報ノ育ガカン電相逐三成ルト四人が

聖年書ラナニフーシメ付ラ

童=思く震

〇一次主教居己因去方人人支一端之 如此起、テ選とと是ハボ女子也本文後八山田宗編力取持とりトセ

〇心ロダニ君木トナラバ其体こ都ノラナモ住ヨカルでし

〇二月十八日利休御成敗你出了一ケル八大徳寺山門ノ上へこ己力木像了草鞋 サハカセ置音九山つハ天子モ行幸在親王接家モ作通り有其小三如此不 禮人本像习置事言語、発入心以者十八又茶头一品人高下习行了三元

親陳三丁依吃了有申等以不看也仍之切腹你付了八十り利休久之

サワカズ小座鋪を会けかりい性、立かせ一般を三年三十七茶碗金月 物ョト庭へ投力分子了宗殿三元萬事一之付敬見」品《う分子辞世三

○人生七十 力圖 布以 吾這宝無 祖佛共教

天候使薛田人ナり是人モ利休入コンノカ子成りと利休力着ラナ 最直經二包人妻ノ宗母白綾ノ小神ラ以うた職习被と中クス一般之债 极床上三アカリ腹十文字三切七十一歲之粮徒并時日從路守是首ラ上了京 ショり後一切茶事一少ラレシトナリ 使三人八腰カンニ一件たと故宗殿着为上直缀、包と持出後セント文或說 ○提ハウカえり是ノーウスカを入り時ト天ニナンノラツ 拖筆亦利体 一文字想人亦持又上十

茶陽古事一談卷之六二十八分条終



